

くまもの  
文化財

県指定重要文化財

＝ 賀庭寺古塔群 ＝

荒尾市樺字堂辺田



賀庭寺(がていじ)は、「国郡一統志」「肥後国誌」等によれば、末法思想が漸く民心の中に浸透しはじめた平安末期(十二世紀)平重盛によって創建され、その盛時には四十有余の寺・坊をもっていたと伝えられている。その後寺運は衰え、元禄十三年(一七〇〇)、延暦寺の末寺として再建されたものの、明治初年の廃仏毀釈の嵐と、それに続く明治十年の失火により近隣の馬場屋敷五軒を含む本堂、庫裡が全焼するという悲運に遭遇した。しかし、村民の涙ぐましい努力により翌明治十一年に再建されたのが写真中央にみられる観音堂である。

観音堂の周囲にある古塔群は、昭和四十六年、荒尾市教育委員会によって周辺の山林や集落内に散乱、埋没していた七百基を超え、と思われる石塔の中から、宝塔四十一基、五輪塔百一十一基等計百八十二基を組立て整理されたものである。

(昭和五十一年二月十二日県指定)

明日の熊本 私の提言



観光立県のマスタープランを

日本青年会議所熊本ブロック協議会

会長 興 繩 義 昭

「青年会議所」という名称をお聞きになった方は多数おられると思いますが、さてどのような組織で、どのような活動をと、具体的にご存知の方は少ないと思います。そこで先ず青年会議所のPRからさせていただきます。

青年会議所(JC)は、「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった二十歳から四十歳までの青年の団体であり、人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。現在全国六百四十の都市に五万名の会員を擁し、その全国的運動の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあり、その下部組織として熊本県を担当しているのが熊本ブロック協議会であり、熊本県内には十の青年会議所、七百名のメンバーが、その立地している市(県内十一

市内、未設立は菊池市のみ)において市民社会の一員として市民の共感を求め、青年会議所の事業目標である「社会と人間の開発」に取り組んでおります。具体的には、荒尾の水戸カーニバル、本渡の綱引き大会、各地でのソフトボール大会等々を主催し、地域社会と密着した活動を行っている訳であり、またそれらの企画、実行の中にメンバーの資質の向上があると考えております。

ブロック協議会はそれらの連絡調整を第一の目的としておりますが、熊本県においては統一事業を実施したり、できうれば県当局に対して提言等が得る体制というものも考えていきたいと思っております。

私達青年会議所は毎年一回、九州大会を各県持ち廻りで開催しておりますが、最近では九州内会員五千名、実際参加会員二千五百名以上と非常に大きな大会となっており、熊本では昭和五十五年、即ち来年六月頃に開催することが決定しておりますが、ここで困るのが収容できる会議場がないということです。熊本市民会館でも各種大会等が行われておりますが、手狭のケースが出てきているやりに聞いております。

新聞報道によりますと、女子大跡地に多目的の建物が計画され、具体的な検討に入っておられるとのことですが、ぜひ三千名以上の集会ができるようにして頂きたい。

このような大会、会議が安心して主催できればもつと九州においては、地理的に中心地である熊本での会議等の開催が多くなると考えます。熊本県経済の特色として、第一次産業の盛んなことは非常によいことであり、今後向上に種々の施策が実行されるでしょうが、これに加え、人の集中はそのまま第三次産業に反映してくるものであり、観光客の誘致というものも充分考慮すべきことだと思っております。

会議だけに限らず、自然の景観、また人工の美、具体的に名をあげずとも熊本の間であれば誰でもピンとくる素晴らしいものをもっている熊本県として、観光立県のマスタープランを作成し、広く公開し、県民あげて目標に向かって邁進できる土俵づくりが必要なのではないでしょうか。

行政としてやらなければならない事は多々あるでしょうが、同じ目標に向かって、民間としてもやらなければならない

ことも多々あるでしょう。例えば、熊本市内において、宿泊施設の不足という声もあるようです。これもシティホテルの建設となりますと莫大な資金となり安易には取り組めないでしょう。しかし、放ってはいいつ迄も解決はできず、前進するためにはそこに話し合いの場づくりといったことも必要でしょう。先日新聞には、内牧温泉のお客誘致に策はないかということで、若い人達の経営研究会が結成されたとの記事がありました。このような前向きなグループとの話し合いといったことも考えられます。

若い二十歳から四十歳までの団体である青年会議所として、今後も各地においてその地域にあった運動を展開していきたいと考えておりますが、この中に観光地をキレイにといたテーマでの運動があってもよいと考えます。地域全体での精神運動と同時に、清掃を実施したり、立札(景観をそこなわないもの)等を設置したり、具体的な項目も必要かと思っておりますので、検討していきたいと思っております。今後とも私達青年会議所運動に対して、ご指導、ご協力をお願いいたします。